

日本毛織(株)印南工場

環境保全対策実施報告書

1. 環境保全対策実施状況（令和4年度）

(1) 大気汚染に係る対策

推進の内容	実施の成果
<p>①ボイラー、コージェネ発電機の日常点検、及び4か月毎の定期点検・調整・排ガス分析を継続しております。</p> <p>燃料は都市ガスでありSO_xの排出はなく、低NO_xバーナーを採用しており燃焼状態は良好です。</p> 	<p>排ガス分析結果から判断して、良好な運転が出来ております。</p>
<p>★ ②CO₂削減対策、省エネ</p> <p>ガスコージェネ発電(815kW, 2017年設置)の運転率を高め省エネ、CO₂削減に寄与しています。現在、新型コロナウイルスにより工場操業日の変動的である中、発電量最大化のために取り組んでいます。</p> 	<p>令和4年度のエネルギー原単位は前年度比96.8%と、自社目標98%に対して目標達成でした。CO₂排出量は100.1%と総量比の為、生産量増加により昨年と同等になりました。</p>
<p>③省エネパトロール</p> <p>「省エネパトロール」と称して生産用圧縮空気や蒸気の漏れ等の細かな無駄、トラブルの早期発見、対応を推進しています。</p>	

(2) 水質汚濁に係る対策

推進の内容	実施の成果
<p>①水処理装置の日常点検・定期点検及び測定機器の定期保全を実施しました。</p>	<p>排水処理の安定運転が出来ました。</p>

(3)騒音・振動に係る対策

推進の内容	実施の成果
①環境保全協定で定められた測定点で騒音測定を行いました。	いずれも測定点でも協定値を遵守しています。

(4)産業廃棄物に係る対策

推進の内容	実施の成果
①排水処理装置から発生する汚泥のセメント原料化を継続しています。	廃棄物量は昨年比100.5%でした。コロナから受注がやや回復傾向でその分廃棄物が増加しました。
②製品用紙管の再利用を推進しています。デジタル化により紙の削減も進めています。	事務用紙使用量は昨年比93.7%でした。

(5)緑化に係る対策

推進の内容	実施の成果
①樹木・緑地の選定・除草、害虫駆除及び、渇水期の散水を継続し、緑地管理維持に努めております。	緑地の維持により、レンガ造りの工場と緑による景観を維持しております。自動除草ロボットを一部導入し、安定した緑地管理も目指しています。

(6)地域連絡会

推進の内容	実施の成果
①例年、年2回「地域連絡会」を開催する事により、地域住民へ工場の実態を報告する等の取り組みを実施しておりますが、新型コロナウイルスの影響を考慮して、2022年も実施を見送っております。	地域連絡会の開催は、見送っているものの各町内会長様へは個別に訪問し、会社状況や取り組みなどを報告実施しております。
②工場周辺の清掃活動を例年通り実施しています。	工場周辺美化にも配慮した工場操業を実施できております。今後も継続してきます。

(7)その他

推進の内容	実施の成果
①環境マネジメントシステム(ISO14001)認証を取得し、継続運用しています。	環境保全を意識した事業活動に取り組んでおります。

2. 協定値と実績値の比較

(1) 大気関係

(実績値：最大値または年間総排出量)

項 目		協 定 値	実 績 値
窒素酸化物排出量	(Nm ³ /時)	2.0	0.4
	(t/年)	11.6	2.1

(2) 水質関係

①汚濁負荷量

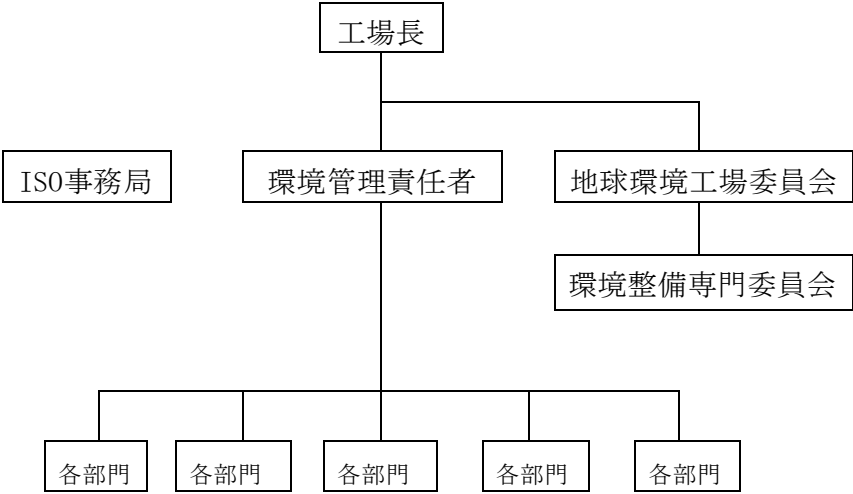
項 目		協 定 値	実 績 値
化学的酸素要求量 (COD) (kg/日)	通常	283	25.6
	最大	373	37.9
生物化学的酸素要求量 (BOD) (kg/日)	通常	452	9.0
	最大	596	23.6
浮遊物質量 (SS) (kg/日)	通常	283	14.7
	最大	373	73.6
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (kg/日)	通常	147	4.9
	最大	194	14.6

②許容限度

項	目	協 定 値	実績値
水素イオン濃度 (pH)	最小～最大	5.8～8.6	6.6～7.6
COD (mg/L)	日間平均	25	8.6
	最 大	35	15.6
BOD (mg/L)	日間平均	40	4.3
	最 大	55	10.8
SS (mg/L)	日間平均	25	4.0
	最 大	50	13.7
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (mg/L)	日間平均	13	2.3
	最 大	20	8.2
六価クロム (mg/L)	最 大	0.25	<0.02

3. 環境保全活動

(1) 令和5年度基本方針

項目	内容
基本方針	当社は、『人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、わたしたちは情熱と誇りをもってチャレンジして行きます』を経営理念としており、環境への配慮と高い企業倫理により社会から信頼される企業グループを指向します。
組織体制	 <pre>graph TD; A[工場長] --- B[ISO事務局]; A --- C[環境管理責任者]; A --- D[地球環境工場委員会]; C --- E[各部門]; C --- F[各部門]; C --- G[各部門]; C --- H[各部門]; C --- I[各部門]; D --- J[環境整備専門委員会];</pre> <p>The organizational chart illustrates the structure of environmental management activities. At the top is the Factory Manager (工場長). Reporting to the Factory Manager are the ISO Secretariat (ISO事務局), the Environmental Management Officer (環境管理責任者), and the Earth Environment Factory Committee (地球環境工場委員会). The Environmental Management Officer oversees five departments (各部門). The Earth Environment Factory Committee oversees the Environmental Maintenance Special Committee (環境整備専門委員会).</p>

(2) 令和5年度環境保全活動計画

環境保全活動	目標	目標達成のための計画、方策
自動車公害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・低公害車の採用 ・自動車排気ガスの抑制 	<ul style="list-style-type: none"> ①社有車更新の際に低公害車を選択 ②従業員、運送業者に対し、アイドリングストップのPR
化学物質対策	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質漏洩の未洗防止 ・化学物質使用量の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ①化学物質の保管・在庫管理の適正化 ②PRTR法に基づく化学物質の排出量、移動量の把握と報告 ③処理設備の維持管理
エネルギー対策 (地球温暖化に係る対策)	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー原単位をR4年度比2%削減 	<ul style="list-style-type: none"> ①コージェネの運転管理 ②省エネ設備の導入 ③倉庫照明LED化 ④スチームトラップ・保温材の点検整備 ⑤エア漏れ点検と迅速な修理対応 ⑥生産の効率運転 ⑦省エネパトロールの実施
廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物排出量をR4年度比99%以下、原単位評価総量評価双方の採用 ・リサイクル率99%以上を維持 	<ul style="list-style-type: none"> ①排水汚泥のセメント原料化を維持 ②汚泥乾燥による排水汚泥重量を削減 ③廃棄物分別の徹底とリサイクルの高位化 ④事務作業のペーパーレス化推進 ⑤RPF化
不法投棄に係る対策	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄の撲滅 	<ul style="list-style-type: none"> ①工場外周の定期巡回と清掃を実施し、投棄し難い環境を維持
★ 緑化に係る対策	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地、樹木の維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ①樹木の剪定、除草、害虫駆除を実施 ②ロボット除草機の追加導入
グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> ・購入前に考える仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ①注文前にグリーン購入の可否を考える取組を継続
環境マネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステムの継続とISO14001の認証維持 	<ul style="list-style-type: none"> ①環境マネジメントシステムの外部審査を受け、運用管理を行います。

環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員、協力会社への省エネ・廃棄物・その他環境改善教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ①教育訓練計画を立案・実行し、進捗管理を行います。
地域社会への参画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や行政が行う環境保全活動に可能な限り参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ①新型コロナウイルスによる情勢を考慮しながら地域連絡会の開催を検討 ②工場周辺の清掃活動実施
環境コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・環境情報の公開に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ①ニッケグループ環境報告書の中で当工場の環境情報について報告（詳細版は当社ホームページに掲載）
周辺環境に影響を与えるおそれのある事故等発生時の地元への広報等	<ul style="list-style-type: none"> ・工場外に重大な影響を与える場合に限り加古川市・町内会に公表 	<ul style="list-style-type: none"> ①緊急時対応訓練の実施 ②環境マニュアル・規定書にある緊急時連絡体制の従業員教育適切に実施